

親子歴史講座

「江戸時代の博物図鑑をつくろう」

日	時	1日目	平成22年7月31日(土)	午前10時～正午
		2日目	平成22年8月1日(土)	午前10時～正午
会	場	講堂		

[事業目的]

夏休みに親子で歴史に親しむ機会を提供すると共に、親子の対話の機会を提供する。

[講座内容]

今や子どもから大人まで身近な存在になった図鑑(図譜)は、江戸時代にもたくさん作られていた。代表的なものでは、幕臣岩崎灌園による日本初の植物図鑑『本草図譜』、薩摩藩主島津重豪が農業・動植物についてまとめた『成形図説』、江戸時代後期に来日したドイツ人医師シーボルトがまとめた『日本植物図譜』、明治時代、大森貝塚から土器を採集した博物学者南方熊楠が、地元熊野の森で採集したキノコで作成した『菌類図譜』などがあり、動植物を中心に種類は豊富であった。

本講座では、品川ゆかりの資料を使って、江戸時代の和本に似せたオリジナルの図譜を作る講座を実施した。

1日目 受講者 12組26人

「江戸時代の図譜とは」「図譜の作り方」「スケッチ(模写)のコツ」スケッチ

2日目 受講者 12組27人

スケッチ続き 表紙・紙捻製作 製本・綴じ

・スケッチ題材(各人一つ選択)

- ①区内の遺跡出土の遺物(土器・玩具) ②三代将軍家光自筆の絵画
- ③寛政10年の鯨 ④品川の江戸野菜

講師：富川 武史(品川歴史館学芸員)、星野 玲子(鶴見大学講師)